



目次

知的クラスターとは	1
クラスター政策の変遷	2
知的クラスター創成事業の事業概要	3
知的クラスター創成事業(第Ⅰ期)概要・実施地域	4
知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)概要・実施地域	5
知的クラスター創成事業における関係府省等との連携及び国際展開	6
知的クラスター創成事業における代表的な事業化事例等	8
<b>第Ⅱ期実施地域</b>	
札幌周辺を核とする道央地域 (ライフサイエンス, 情報通信)	10
広域仙台地域 (情報通信, ライフサイエンス)	12
富山・石川地域 (ライフサイエンス)	14
長野県全域 (ナノテク・材料)	16
静岡県浜松地域 (情報通信, ナノテク・材料, ライフサイエンス)	18
東海広域 (ナノテク・材料, 環境)	20
京都およびけいはんな学研地域 (ナノテク・材料, 環境)	22
関西広域地域 (ライフサイエンス)	24
福岡・北九州・飯塚地域 (情報通信)	26
<b>第Ⅰ期実施地域</b>	
金沢地域 (ライフサイエンス)	28
岐阜・大垣地域 (ライフサイエンス)	30
宇部地域 (ライフサイエンス)	32
<b>第Ⅰ期終了地域</b>	
札幌地域 (情報通信)	34
仙台地域 (情報通信)	36
富山・高岡地域 (ライフサイエンス, ナノテク・材料, 情報通信)	38
長野・上田地域 (ナノテク・材料)	40
浜松地域 (情報通信, ライフサイエンス)	42
愛知・名古屋地域 (ナノテク・材料, 環境)	44
京都地域 (ナノテク・材料)	46
関西文化学術研究都市地域 (ライフサイエンス, 環境, 情報通信)	48
大阪北部(彩都)地域 (ライフサイエンス)	50
神戸地域 (ライフサイエンス)	52
広島地域 (ライフサイエンス)	54
徳島地域 (ライフサイエンス)	56
高松地域 (ライフサイエンス)	58
福岡地域 (情報通信)	60
北九州学術研究都市地域 (情報通信, 環境)	62
中核機関の連絡先	64

アイコン

科学技術基本計画(平成13年3月閣議決定)における重点四分野を表します。



ライフサイエンス分野



情報通信分野



環境分野



ナノテク・材料分野

●知的クラスター創成事業

# 「知的クラスター」とは

平成13年3月に閣議決定された第2期科学技術基本計画において、地域における「知的クラスター」の形成の促進が位置付けられました。さらに、第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)においても、クラスター形成の進捗状況に応じ、世界レベルのクラスターとして発展可能な地域に重点的な支援を行うこととしています。

「知的クラスター」とは、地域のイニシアティブの下で、地域において独自の研究開発テーマとポテンシャルを有する大学をはじめとした公的研究機関等を核とし、地域内外から企業等も参画して構成される技術革新システムをいいます。

具体的には、プロジェクトの企画・立案、共同研究や交流活動等を通じて、産学官の関係者による網の目のようなネットワークを形成し、緊密な連携、日常的なコミュニケーションから、核となる公的研究機関等の有する独自の技術シーズと企業の実用化ニーズを相互に刺激しつつ、イノベーションを連鎖的に創出する集積の形成が起こるシステムを構築します。このシステムを発展させることにより、世界中からヒト・モノ・カネを惹きつけ、世界レベルでのイノベーションの創出が可能となります。

文部科学省では、このような「知的クラスター」を創成し、地域経済の活性化を図ることを目的として、平成14年度から「知的クラスター創成事業」を実施しています。

現在、「知的クラスター創成事業(第Ⅰ期)」(平成14年度開始)と、これまでの成果を踏まえてクラスターとしての発展を加速させることを目指す「知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)」(平成19年度開始)の事業を実施しています。

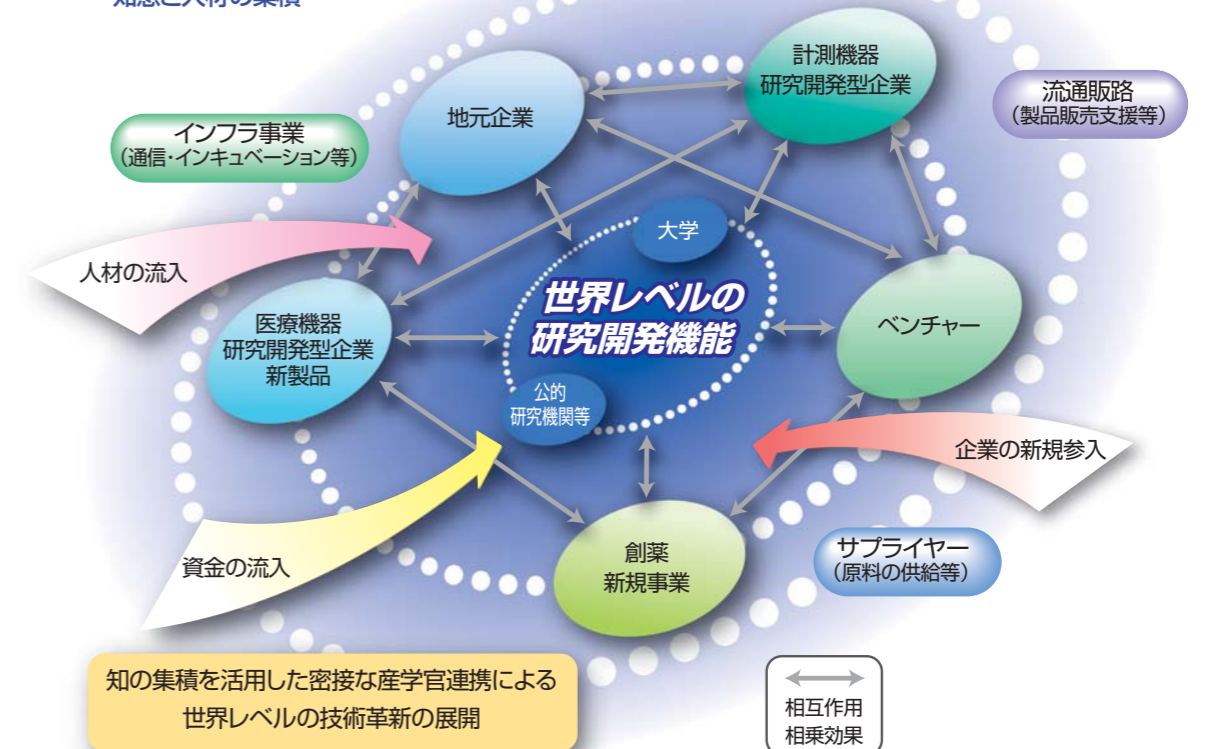
【知的クラスターのポイント】

1. 地域のクラスター構想に基づく戦略的な事業実施
2. 知の集積の活用: 大学、公的研究機関等を核としたイノベーションの創出
3. 世界レベルの技術革新: 地域外からヒト・モノ・カネが集積

知的クラスターのイメージ

(バイオクラスターの例)

知恵と人材の集積



知の集積を活用した密接な産学官連携による世界レベルの技術革新の展開